



2021. 1. 1.

1月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

あけましておめでとうございます。

さて今年度の幼稚園のクリスマスはクラス毎の礼拝・祝会になり、イエス・キリストの降誕を祝う年長組のページェントを見ていただけたのは、其々のクラスの保護者だけになってしまいました。

でも、年少・年中組は先生手作りの大きな絵本で降誕物語を聞き、保護者の皆さまと一緒に祝会が出来て、嬉しい、心満たされる時間になりました。

藤井司祭は全ての会に出席し、会の度に祝祷してくださいました。私は、教会の主日礼拝では祝祷とそれに続く後奏を聞いている時間が一番好きなので、合計で7回も祝祷していただき、個人的にとっても嬉しい時間でした。

そして12月18日（金）の礼拝では「フリージア・パンジー合同ページェント」が、藤井先生のお話しに替えて、子どもたちのクリスマスメッセージになりました。

合同ページェントでは、2つのクラスのページェントが1つの舞台上で同時進行します。

例えば、本番では1人で登場する「星」は、2人が同時に登場し、声を合わせて台詞を言います。同じように、ヨセフとマリアは2組ずつ4人、博士は3人ずつ6人という具合に、同時に登場して行くのです。

年長児たちは本番の緊張から解放されたせいかりラックスしてメッセージを伝え、年少児と年中児は目を輝かせ、身を乗り出して見つめています。厳かさはちょっと控えめになりましたが、クリスマスのメッセージを伝える側も受け取る側も、其々の喜びに満ちたページェントになりました。

コロナに振り廻されてそろそろ1年、色々な変化を殊更に「新しい日常」と呼ぶこともなく受け入れていく、そんな年になるのかもしれませんが、でも、嬉しい、これからも大切にしていきたいと思える時間が、新たに積み重ねられていくことを願っています。

年主題 『こころが満たされる』

<年主題聖句> 「喜びと平和であなたがたを満たす」

(ローマの信徒への手紙Ⅰ 15章13節)

1月主題 『なかまと ひびきあって』

<聖句> 「神は愛です。」

(ヨハネの手紙Ⅰ 4章16節)